



へら鮒釣り大会には毎年県内外から愛好者が集まる（下条川ダム 7月28日）



マチイロ

マチを好きになるアプリ



スマホで広報紙



主な内容

- ロシア特集(コムソモリスク市子ども代表 団来市、ロシア体操チーム)…………… 24
- 市民大学講座(第四講～第八講)…………… 5
- 第62回総合体育大会総合開会式…………… 67
- 平成30年度下半期の財政状況…………… 8
- 加茂地区新規高卒求人説明会…………… 9
- 総体の結果…………… 10
- 歯の健康…………… 11
- 加茂の風土記…………… 12

加茂市ホームページでも広報配信中 / <http://www.city.kamo.niigata.jp/>

ロシア コムソモリスク・ナ・アムール市子供代表団 来市



7月9日から16日までの8日間、ロシア コムソモリスク・ナ・アムール市子供代表団が来市しました。代表団は滞在中に市内の小中学校、各施設を訪問して児童、生徒との交流を深め、またホームステイでは日本の生活を体験しました。

コムソモリスク市の子供代表団の来市は今回で16回目になります。9日の成田空港からの道中に発生した列車の遅延により、予定より3時間ほど遅く、加茂市に到着しました。

10日、代表団が市役所へ表敬に



代表団からマトリョーシカ人形を頂きました

訪れました。代表団長のエフゲニー・コルシコフ副市長をはじめ12名の子供たちを前に、藤田市長は加茂市の地理的特徴、産業、教育について紹介し、「コムソモリスク・ナ・アムール市との交流や、ロシア体操チームの合宿開催で加茂市民にとってますますロシアという国が身近に感じられるようになりました。皆様からも出来るだけ多くの加茂市民と交流し、親しくなっていたければ幸いです。」とあいさつしました。団長のコルシコフさんは「お招きいただき大変感謝しています。昨年当市を訪問した加茂市の子供たちの描いた絵を、当市の美術館に展示した際市民の方々からは大変好評でした。この派遣事業は大人気で、今回選抜された代表はどの子も優秀な才能のある子供たちです。彼らと加茂市の子供たちとの交流が、お互いの成長、ひいては加茂市と当市の交流促進に寄与することになればと思っています」とあいさつされました。表敬の記念にコムソモ



加茂市の代表団OB・OGとの交流もありました

リスク市からロシアの伝統工芸品であるマトリョーシカ人形が、加茂市からは市内の事業所で作られた屏風と、代表団全員に桐のトリーが贈られました。

学校訪問は10日に加茂中学校、11日に加茂小学校と須田中学校を訪問しました。加茂中学校では昨年中学生代表団として参加した齋藤睦美さんのエスコートで入場し、体育館



民俗資料館



加茂中学校



加茂小学校

各所で特色ある異文化交流体験が行われました



須田中学校



第三平成園



下条川ダム
(ダム堤内)



歓迎パーティー



コムソモリスク市と加茂市の交流はこれまで良好な関係が続いており、今回の交流でより一層、両市の友好が深まりました。

のあいさつをしました。

でグループになってレクリエーションや自己紹介をしました。加茂小学校ではけん玉やおはじき、大玉送り、鬼ごっこなど日本の遊びを体験しました。須田中学校では、吹奏楽部の演奏で迎えられ、折り紙やこま回しなどの日本の遊びや、書道体験をしました。

第三平成園では日本の社会福祉についての説明と、身体の不自由な方でも利用できる特殊浴槽の実演を見学しました。ほかに体操トレーニングセンター、温水プール、民俗資料館等を訪問しました。13日から2日間はホームステイで過ごし、日本の生活を体験しました。15日は下条川ダムでダムについての説明を受けた後にダム堤の中を見学し、夕方には市役所でお別れのあいさつをしました。



お別れあいさつ



♪会員募集しています♪

加茂市国際交流協会では、様々なイベントと一緒に楽しむ会員を随時募集しています。詳しくは事務局（市総務課国際交流係 内線327）へ

コムソモリスク市子供代表団滞在日程

- 9日(火) 約3時間遅れて加茂市に到着
- 10日(水) 市役所表敬訪問-加茂中学校
-民俗資料館-歓迎パーティー
- 11日(木) 加茂小学校-第三平成園-体操トレセン
-須田中学校-温水プール-加茂美人の湯
- 12日(金) 新潟市内観光-マリニピア日本海
-ホームステイ(～14日)
- 15日(月) 下条川ダム-西蒲区で海水浴-市役所でお別れ挨拶
- 16日(火) 成田空港から定刻で出国

ロシア男女体操チームが来市 公開練習に多くの市民が見学！

ロシアの男女体操チームが7月10日（水）～30日（火）まで滞在して、東京2020オリンピック競技大会の事前合宿を行いました。

ロシアは2016年のリオデジャネイロ五輪では男女ともに団体総合銀メダルを獲得した強豪国です。この合宿には2012年ロンドン五輪と2016年リオデジャネイロ五輪女子種目別の段違い平行棒で2大会連続金メダルのアリーヤ・ムスタフィナ選手や2018年世界体操競技選手権大会男子個人総合金メダルのアルトゥール・ダラロヤン選手、銅メダルのニキータ・ナゴルニー選手など選手24人とコーチらを含め54人が参加しました。

11日（木）には勤労者体育センターで歓迎セレモニーが行われ、宝が丘保育園の園児らがロシアの旗を振って出迎えました。

セレモニーで市長は「体操強豪国のロシア男女体操チームの皆さんをお迎えできることを心より歓迎申し上げます。皆さんの練習を加茂市としてサポートして参りたいと思います。加茂市で調整した選手が活躍することを期待します」とあいさつしました。セレモニー終了後は体操トレーニングセンターへ移動し、早速、公開練習を行いました。

公開練習は日曜日を除く11日（木）～17日（水）に行われ、この間、およそ千人が見学に訪れました。この他にも市内の小中学生向けに公開練習を行い、およそ500人が見学しました。

また、27日（土）には加茂体操クラブと新潟経営大学体操競技部が、ロシア体操チームと交流しました。加茂体操クラブからはロシア体操チームへ手作りメダルのプレゼントを渡し、その後はロシア体操チーム選手やコーチへの質問タイム、選手から指導を受ける貴重な時間を過ごしました。

公開練習中のロシア男女体操チーム（写真下）



歓迎セレモニー終了後の記念撮影（写真上）、選手らを出迎える園児（写真左）、ロジオネンコ団長へ花束を渡す市長（写真右）



ロシア男女体操チームの選手から指導を受けたり、Tシャツにサインを書いてもらうなどの交流もありました（写真上）

第44回 市民大学講座

5月27日から7月15日までの毎週月曜日の午後7時（最終講の7月15日は午後2時）から、全8回の講義を行いました。全体で延べ192人の市民の皆様に参加がありました。

今回は、6月号で紹介した第一講から第三講以後に開催された、第四講から第八講の概要を写真とともにご紹介します。



6/12

第四講「災害時の食について」ー非常食と災害食ー

新潟県食品研究センター 専門研究員 中島 正晴さん

「非常食」は、長期保存・コンパクトにする必要があることから炭水化物がメインとなります。一方「災害食」は、要配慮者（乳児、アレルギー保持者、嚥下の難しい方等）向けの食事だけでなく、災害現場で活動する人向けの食事を含めます。家庭での備蓄は任んでいる人の状況に応じた物を最低3日分（できれば1週間分）備えること。また、発災時に無理なく食べられるよう備蓄食料を普段から食べ慣れておくと、誤嚥などのリスクを減らせます。



6/24

第五講「桐ダンスと桐のお話」ー桐は21世紀の素材

(有) 茂野タンス店 代表取締役社長 茂野 克司さん

昔は桐ダンスを販売するには百貨店などに卸していました。今は特注品受注や、昔の桐ダンスの直しの受注が多いようです。近年、桐の性能（調湿性、熱伝導率の低さなど）に注目が集まり、桐を使った家具が増えました。「大事なものを」を入れる家具という感覚で、お寺の経典を入れる桐箱や、カメラを保管する桐箱などの作製もあります。

近年、木工教室等を盛んに実施している背景には、様々な人材に桐ダンスの良さを知ってもらおう目的があります。



7/1

第六講「古民家再生」

長谷川工務店 社長 長谷川 一良さん
NPO法人 空き家・空き地対策協議会 理事長 長谷川 貴志さん

古民家の地震対策は「揺らす」ことにあります。揺らすことで家全体の倒壊を防ぎます。塗り壁は崩れますが、また塗れば元通りになります。動いた梁は引き戻して修復します。昔の雪国の家は柱や梁が太く、築20年以上でも修復して住み続けられる程です。（一良さん）

空き家等の問題を総合的に解決する為に、NPO法人を設立しました。所有者が動けるうちに問題を解決しておく、その後の活用もスムーズに行えます。（貴志さん）



7/8

第七講「進化する医薬品」ー薬が効く仕組みー

新潟大学工学部教授 鈴木 敏夫さん

一つの医薬品の開発には長い期間（10〜18年）と膨大な研究費（200億円以上）がかかります。現在使用されている医薬品のほとんどが、この50年の間に開発されたものです。

鈴木教授からは、既に開発された薬について、改良がなされて以前より各段に副作用を低減した薬を生産出来た事例や、薬害の問題によって安全性の検査自体の質が高まった事例を、身近なたとえ話を用いて分かりやすく解説していただきました。



7/15

第八講「太鼓道歩んで45年」

太鼓奏者 室井 善範さん

講師の室井善範さん自作の太鼓を使った太鼓演奏から始まり、その後、参加者全員で楽しく試し打ちをしました。和太鼓の要素は「胴が一本のくりぬき」「打面は馬か牛の皮」「鉦打ち取っ手」の3つが揃って初めて和太鼓といえます。

胴や皮を太鼓にする下準備の工程はいくつもあり、その工程や材料の組み合わせによって、和太鼓は世界でも類を見ないほどの音色と響きをもつ楽器となるそうです。



第62回 加茂市総合体育大会



今年度は20競技で開幕

総合開会式では

- ・スポーツ功労者
 - ・優秀指導者
 - ・優秀競技者
- を表彰

7月5日、文化会館で総合体育大会（総体）の総合開会式が行われ

ました。始めにスポーツ協会加盟の19競技団体が加茂高校吹奏楽部の演奏の中、大ホールに入場しました。式典ではスポーツ功労者（6名）、優秀指導者（1名）と昨年度からの優秀競技者（44名・6団体）が表彰されました。今年度の総体は硬式テニス・ダブルス（7月14日）から来年3月のサッカー（フットサルの部）までの20競技が行われます。表彰された方々は次のとおりです。（敬称略）

【スポーツ功労者章】

▼知野東悟（加茂市バレーボール協会役員として各種大会企画運営と選手育成に尽力）▼河田直子（加茂市家庭婦人バレーボール連盟役員として技術・競技力向上と組織運営に尽力）▼青柳靖子（加茂市家庭婦人バレーボール連盟役員として審判技術向上と組織運営に尽力）▼西潟康則（加茂スキークラブ役員として各種大会運営と選手育成に尽力）▼中野利榮（加茂山岳会役員として組織運営と登山道整備に尽力）▼故・田中勝弘（加茂水泳クラブ会長として各種

大会運営と選手育成に尽力）

【優秀指導者章】

▼近田孝之（加茂ジュニアバレーボールクラブのジュニア選手育成に尽力）

【優秀競技者章（団体）】

▼加茂ジュニアバレーボールクラブ（第38回新潟県スポーツ少年団総合体育大会第34回バレーボール大会で優勝。また、第16回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会出場）▼加茂空手スポーツ少年団小学生男子（第38回新潟県スポーツ少年団総合体育大会第42回空手道大会小学生男子団体「組手」第3位）▼加茂空手スポーツ少年団小学生女子（第38回新潟県スポーツ少年団総合体育大会第42回空手道大会小学生女子団体「組手」第3位）▼加茂高等学校体操部（令和元年度新潟県高等学校体育大会体操競技大会団体総合第2位）▼新潟経営大学体操競技部（第66回東海北信越学生体操選手権大会団体総合第2位）▼KamORG（新体操）（平成30年度北信越ジュニア体操選手権大会新体操新潟予選会女子団体競技第3位。また、

平成30年度北信越ジュニア新体操選手権大会女子団体競技第5位）

【優秀競技者章（個人）】

■野球▼丸山尊仁（第140回北信越地区高等学校野球新潟県大会で準優勝）

■ソフトテニス▼齋藤彩華（令和元年新潟県小学生ソフトテニス選手権大会で優勝）▼三村乙葉（令和元年新潟県小学生ソフトテニス選手権大会で優勝）▼前山愛（平成30年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス大会で団体戦準優勝）▼阿部瑞希（平成30年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス大会で団体戦準優勝）▼福島希（第49回新潟県中学校総合体育大会ソフトテニス大会で女子個人の部第2位）▼鶴巻紗来（第49回新潟県中学校総合体育大会ソフトテニス大会で女子個人の部第2位）

■陸上競技▼鶴巻来音（第8回新潟県小学生陸上競技選手権大会で小学5年男子100m第3位）▼鶴巻日菜（第8回新潟県小学生陸上競技選手権大会で小学3年女子100m第3位）▼高田優心（第72回新潟県高等学校総合体育大会兼令和元年度全国高等学校総合体育大会新

新潟県予選会陸上競技大会で女子4×100mリレー6位)

■卓球▼松澤和咲(平成31年度全日本卓球選手権(ホープスの部)新潟県予選で第3位)

■空手道▼長澤和花(第38回新潟県スポーツ少年団総合体育大会第42回空手道大会で小学生高学年女子「組手」第3位)▼近藤真琴(第35回新潟県少年少女空手道選手権大会で小学生4年女子「組手」第3位)

■水泳競技▼大野一真(第51回北信越高等学校選手権水泳競技大会で男子400mリレー第3位)▼有本翔真(第51回北信越高等学校選手権水泳競技大会に出場)▼吉田稜太(第51回北信越高等学校選手権水泳競技大会に出場)▼増井遼大



東京2020オリンピック・パラリンピックの夢をジュニア選手達が発表

(第39回北信越中学校総合競技大会水泳競技大会で男子100m平泳ぎ第7位)▼土橋輝(第73回国民体育大会水泳競技大会に出場)▼吉田玲菜(第51回北信越高等学校選手権水泳競技大会に出場)

■体操競技▼北澤寛太(2018年北信越ジュニア体操選手権大会体操競技で男子U-15個人総合優勝)▼保倉秀翔(2019年度新潟県体操競技選手権大会兼国民体育大会新潟県予選会で個人総合2位)▼長澤響(2019年度新潟県体操競技選手権大会兼国民体育大会新潟県予選会で個人総合3位)▼平岡達典(2019年度新潟県体操競技選手権大会兼国民体育大会新潟県予選会で跳馬優勝)

▼五十嵐大都(2018年北信越ジュニア体操競技選手権大会で平行棒3位)▼田邊奏佑(2019年新潟県体操競技選手権大会で小学生男子Bクラス個人総合優勝)

▼五十嵐遥都(2019年新潟県体操競技選手権大会で小学生男子Bクラス個人総合3位)▼捧陽正(2019年新潟県体操競技選手権大会で小学生男子Bクラス円馬2位)▼白根愛理(2018年第19回全国体操小学生大会で個人総

合銀賞)▼坂上にご(2019年新潟県体操競技選手権大会で小学生女子Bクラス個人総合優勝)▼小堺健也(第72回全日本小学生体操競技選手権大会で男子2部平行棒3位)▼大下克哉(第66回東海北信越学生体操選手権大会でゆか3位)▼織田進太郎(第66回東海北信越学生体操選手権大会でつり輪・平行棒優勝)▼石原司貴(第66回東海北信越学生体操選手権大会であん馬・つり輪2位)

■グラウンドゴルフ▼青木孝三(第74回国民体育大会グラウンド・ゴルフ新潟県予選大会で個人の部Bグループ男子優勝)

■太極拳▼栢森茂昌(第28回新潟県武術太極拳選手権大会で競技の部・個人戦24式太極拳(60歳以上)第2位)▼窪田秀夫(第23回にいがたねりんピック太極拳大会で

個人戦70歳以上74歳以下男子の部第1位)▼吉田陽子(第23回にいがたねりんピック太極拳大会で個人戦65歳以上69歳以下女子の部第1位)▼五十嵐千津子(第23回にいがたねりんピック太極拳大会で個人戦65歳以上69歳以下女子の部第2位)▼大湊ユリ子(第23回にいがたねりんピック太極拳大会で個人戦65歳以上69歳以下女子の部第3位)▼船久保麻子(第23回にいがたねりんピック太極拳大会で個人戦60歳以上64歳以下女子の部第2位)▼富樫貞子(第23回にいがたねりんピック太極拳大会で個人戦70歳以上74歳以下女子の部第3位)



選手宣誓をする松澤和咲さんと篠原杏奈さん(加茂卓球クラブ)

■新体操▼竹内理恋(第49回新潟県中学校総合体育大会新体操大会で個人総合4位)▼松井日花(平成30年度北信越ジュニア体操選手権大会新体操新潟県予選会でジュニアの部個人総合第6位)▼山崎恋依(平成30年度北信越ジュニア新体操選手権で女子個人B競技第7位)



平成30年度 下半期の財政状況

加茂市には、どのようなお金が入り、何に使われているのか・・・。
市では毎年財政状況を公表しています。今回は、平成31年3月31日までの財政状況をお知らせします。

■一般会計

予 算 額 147億6,991万円
収入済額 110億4,420万円 (収入割合74.8%)
支出済額 108億7,234万円 (支出割合73.6%)

歳 入		歳 出		
				■上段：予算額 ■下段：収入・支出済額 (円)
43億2,006万	地方 交付税※	民生費	41億2,476万	
42億1,230万			37億9,197万	
29億8,969万	諸収入	商工費	27億8,908万	
8億7,884万			8億8,163万	
27億2,512万	市 税	教育費	18億1,394万	
25億3,707万			12億3,497万	
13億4,241万	国庫 支出金	土木費	17億4,087万	
11億 459万			12億3,497万	
11億8,384万	県支出金	公債費	11億3,890万	
8億5,595万			11億 413万	
8億3,250万	市 債	総務費	10億 303万	
3億 970万			7億8,292万	
4億8,500万	地方消費税 交付金	衛生費	7億 19万	
4億9,234万			6億3,920万	
8億9,129万	その他	その他	14億5,914万	
6億5,341万			11億5,945万	

※臨時財政対策債は地方交付税に含む

■特別会計

項 目	予 算 額 (万円)	歳 入		歳 出	
		収入済額 (万円)	収入割合	支出済額 (万円)	支出割合
国民健康保険	30億3,430	29億 659	85.9%	26億8,883	88.6%
後期高齢者医療	3億 207	2億9,298	97.0%	2億9,181	96.6%
宅 地 造 成 事 業	3億4,942	1億1,058	31.3%	3,325	9.5%
下 水 道 事 業	22億3,735	15億2,992	68.4%	17億3,464	77.5%
介 護 保 険	32億4,948	31億4,866	96.9%	28億7,234	88.4%
在宅介護サービス事業	5億7,309	4億8,050	83.8%	5億5,549	96.9%
合 計	97億4,571	81億6,923	83.8%	81億7,636	83.9%

■水道事業会計

項 目	歳 入			歳 出		
	予 算 額 (万円)	収入済額 (万円)	収入割合	予 算 額 (万円)	支出済額 (万円)	支出割合
収益的	5億9,545	5億2,325	87.9%	5億 219	4億7,246	94.1%
資本的	3,237	1,014	31.3%	1億6,801	1億4,419	85.8%

※収益的収入からは減価償却費として1億9,521万円が天引きされ、これが留保財源（貯金）となります。
収入と支出の差は、この留保財源（貯金）で補てんされ、余った分（黒字）は翌年度へ繰り越されます。
この翌年度へ繰り越される留保財源（黒字）は6,723万円です。

市有財産の状況	
土 地	1,389,493㎡
建 物	143,296㎡
構 築 物	253基
基 金	1億5,639万円 105,850㎡

市 債 の 現 在 高	
一 般 会 計	94億1,567万円
下水道事業会計	110億6,559万円

※市債現在高は94億1,567万円ですが、国が負担する分を除き、実際に加茂市が返済する金額は28億8,887万円です。



加茂地区 新規高卒 求人説明会



時間の制約（1ブース20分）の中、生徒は担当者からの話を熱心に聞いていました



企業の中には目印として自社製品を展示したところも

7月16日午後1時30分から、産業センターで加茂地区新規高卒求人説明会が開催されました。

説明会は今年で8回目となります。昨年同様1階ホールと2・3階の会議室が会場となり、県央地区の企業を中心に70社（69ブース）から参加いただきました。

主催者挨拶で登壇した藤田市長は、

生徒さんにとっては社会と触れ合う初めの機会であり自分に合う仕事を見つけるきっかけに、企業・事業所の皆様には地元加茂の就職につながるようPRをお願いし、この説明会が生徒と企業の「縁結び」の時間になるように



藤田市長
と挨拶しました。

続いてハローワーク三条から、県内雇用状況は改善が進みハローワーク三条管内での求人倍率が1.98倍であること、企業の仕事内容やアピールポイントを説明して生徒さんに企業の魅力を感じてもらうこと、生徒さんは貴重な機会なので出来るだけ多くのブースを訪問し就職の参考にさせていただきたいと説明がありました。

県内10校の高校から約70名超の生徒が参加し、担当者から企業の事業内容や職場環境を聞いていました。



2階会場



3階会場

第62回 総体結果



硬式テニス
(ダブルス)

期日 7月14日

会場 庭球場(駒岡)

※男子Bクラス、女子BクラスはそれぞれAクラスに含めて実施しました。

【男子Aクラス】

①高野祐生(加茂ローン)・橋本 国定(加茂フレンドリー) ②大矢 司朗(加茂ローン)・山口茂之 (加茂ローン) ③安中直樹(KIT)・馬場靖幸(KIT)

【女子Aクラス】

①志田美津子(加茂テニス)・中山佐和子(シテイサークル) ②江田美子(加茂フレンドリー)・袴田明里(加茂フレンドリー) ③須田朝子(シテイサークル)・大桃さおり(加茂テニス)



野球(中学生)

期日 7月21日

会場 七谷野球場

優勝 葵中学校

準優勝 加茂・七谷中学校

カメラ スケッチ

七夕飾りで地域交流(7月5日)



下条小学校の児童が飾りのお手伝い

地域の人たちや子育てサークルの参加者が一緒に飾りつけを行う



7月5日、公民館下条分館で七夕飾りの飾りつけが行われました。分館の利用者と子育てサークルの参加者、下条小学校の児童により、今年も煌びやかに飾られた分館の玄関。今年で10回目になる飾りつけは10日まで、入館者をお出迎えしていました。

南蒲産「もも」出荷スタート(7月11日)



次々と選果場に入る桃

7月11日午後1時から、JAにいがた南蒲 須田選果場で、今年初めての選果機械での「もも」の出荷を行いました。

今年から、組織体制(加茂地区・三条市大島地区)が変わり、新しい光センサーの選果機械を使った初めての出荷です。

JAにいがた南蒲によると「機械が新しくなったことで、より正確な糖度を計ることができ、消費者の皆さんへ「良いもの」をお渡しできるようになります」とのこと。

今年のももは、雪が少なく、病気やあられも少なく、また日当たりなども良好で、完璧に近い状態の桃を作ることができたようです。



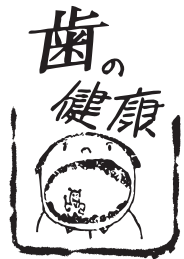
新しい機械で選別される



今年の桃は「完璧に近い仕上がり」

「フレイル（虚弱）」とは…

高齢になって心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態をいいます。筋力などの身体機能の低下より先に、社会参加など他者との交流が減ったり、口の機能が衰えること（オーラルフレイル）から、フレイルが始まります。



オーラルフレイルに
注意しましょう

 <input type="checkbox"/> 体重の減少	 <input type="checkbox"/> 歩行速度の低下	 <input type="checkbox"/> 握力の低下
<input checked="" type="checkbox"/> 3つ以上 当てはまれば フレイルの状態	 <input type="checkbox"/> 疲れやすい	 <input type="checkbox"/> 身体の活動性の低下

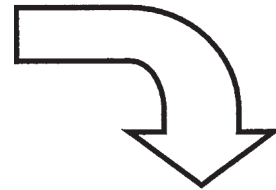
「オーラルフレイル」とは…

口に関する“ささいな衰え”が軽視されないように、口の機能低下、食べる機能の障害、さらには、心身の機能低下までつながる“負の連鎖”に警鐘を鳴らした概念です。

オーラルフレイルを放っておくと、食べられる物に偏りができ栄養バランスが乱れるため、そのほかのフレイルを進行させる原因にもなります。

健康寿命を延ばすためにも、オーラルフレイルを予防することが大切です。

- 抜けたままの歯や、治療せず放置している歯がある。
- 入れ歯の調子が悪い（合わない）。
- 前に比べて、硬い物が食べにくくなった。
- 食事中にムセたり、飲みにくいことがある。
- 一度に飲み込める量が少なくなった。
- 食事の時間が長くなった。
- 話しづらくなった（滑舌が悪い）。
- 口の乾きが気になる。
- 口臭が気になる。
- ここ1年以上、歯医者さんに行っていない。



1つでも当てはまったら要注意！
歯医者さんに相談しましょう。

オーラルフレイルの予防には、

- ・かかりつけ歯科医を持ちましょう！
- ・口の“ささいな衰え”に気をつけて、お口の運動をしましょう！
- ・バランスのとれた食事をとりましょう！

(加茂市歯科医師会)

良寛の俗謡十三首 良寛歌碑

加茂山の貴船神社脇に良寛歌碑がある。歌碑は平成四年（一九九二）に建てられてから二十七年になり、市民にも馴染みの石碑になっている。

この歌碑は、良寛が文化二年（一八〇五）頃に書かれたという

「良寛俗謡十三首」の「加茂松坂」の書影部分を拡大し刻印したものである。俗謡十三首は、良寛自身の筆で広幅の和紙（縦一六センチ×横八〇・五センチ）に認めたも

ので、全部で十三首の当時謡われていた俗謡が書かれている。酒色に絡めて浮世を謡ったものやなかに新潟の女郎衆を歌ったものもある。そのなかに「加茂松坂」がある。何れも盆踊りの歌詞となっている俗謡である。

良寛は文化二年頃にまでに加茂を訪れ、加茂で謡われていた松坂を綴ったものとみられる。

この俗謡十三首が認められた比定年を、図録『ふるさと燦燦 育



良寛書「加茂松坂」の歌碑
（加茂山公園内の貴船神社社殿脇に建立）

まれた作家たち展』は、文化二年としていますが、良寛研究家の小島正芳氏は、五合庵から降り、乙子神社に移った頃、すなわち文化元年から文政九年（一八二六）の間、文化十四年（一八一七）に認められたとみている。

この頃、加茂で活躍していた人々には、次の人たちがいる。青海神社神主で国学者・神道家の古川茂陵六十三歳、国学者の雛田葵亭三十二歳、医師の森田甫三、三十八歳で、それぞれの分野で活躍していた。

文化十三年（一八一六）頃、加茂町には、良寛とも親しかった中島村（燕市）の医師原田鶴齋が、妻の死を機に加茂に移ってきていた。鶴齋が隠居先に加茂を選んだのは、同じく医業に携わり、漢詩や俳諧にも通じていた森田甫三（一七六七〜一八二八）が住んでいたからだだったかも知れない。隠居先は上町の小池紅屋治五郎宅であった。

（関 正平）

あじさいとつ

社会福祉費寄附金

▼北陸ガス株式会社から

4万8200円

教育総務費寄附金

▼阿部精麦株式会社、小柳建設株式会社、株式会社坂上鐵工所、

笹菊薬品株式会社、株式会社第

四銀行、株式会社北越銀行から

22万500円

人口のうごき

8月1日現在
世帯 10,251 (+11)
人口 26,905 (-10)
男 13,089 (-6)
女 13,816 (-4)
()内は前月比
(7月異動分)
出生 10 (男3女7)
死亡 28 (男11女17)
転出 29 転入 37